

皮膚科

研修の概要

「皮膚」は人体の最外層であり、外界から体内を守る最大の臓器です。軽微な外傷や虫刺症から、蕁麻疹やアトピー性皮膚炎といった一般的な疾患、さらには遺伝性疾患、薬疹、悪性腫瘍、自己免疫疾患など、高度な医療技術が必要とする疾患まで幅広く扱います。また、熱傷や壊死性筋膜炎、アナフィラキシーなどの緊急疾患や、美容皮膚科のように急速に発展している分野も含まれます。このように皮膚科は幅広い診療科であり、プライマリケアにも不可欠です。皮疹の見方や皮膚トラブルの考え方など、皮膚科診療は他の領域では学びにくい分野であり、皮膚科を目指すだけでなく、そうでない方も初期研修の間に皮膚科に触れることで、将来的に診療の幅が広がり、有意義な時間となるでしょう。

習得できる知識や手技

<1ヶ月目>

- 皮膚の扱い方、外用剤の基本的な使い方
- 基本的な皮膚処置法、皮膚外科処置の基本
- 皮疹、皮膚病理の基本的な見方、考え方、など

<2ヶ月目以降>

- ステロイド、免疫抑制剤（外用療法、全身療法ともに）の合併症対策
- 帯状疱疹、蜂窩織炎、薬疹など、頻度の多い皮膚科緊急疾患に対する初期対応
- 悪性腫瘍診療を通じた手術療法、化学療法、緩和ケアの考え方、など

週間スケジュール

月	火	水	木	金
8:30- : 病棟/外来 14:00- : カンファレンス（臨床写真、病棟患者、病理等）	8:30- : 病棟/外来 16:00- : 症例検討・学会予演会等（不定期） 17:00-カンファレンス（手術）	8:30- : 病棟/外来	8:30- : 病棟/外来 /手術	8:30- : 病棟/外来 /手術

HP アドレス

<https://www.med.oita-u.ac.jp/dermatology/>

連絡先(担当者)

広瀬 晴奈（病棟医長） : hmatsuda@oita-u.ac.jp

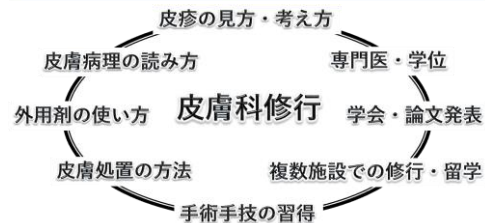
酒井 貴史（外来医長、教育医長） : t-sakai@oita-u.ac.jp

（どちらにご連絡いただいても構いません）

皮膚科には色々な働き方がある！

皮膚科ジェネラリスト	大分大学スタッフ
皮膚外科医	基幹病院スタッフ
アレルギー科医	一般病院スタッフ
研究医	開業医、訪問診療医
皮膚病理医	フリーランス
美容皮膚科医	行政スタッフ
多数のサブスペシャリティ	他大学スタッフ
	研究機関スタッフ
	地元、都会、海外で活躍

皮膚科は修行がとっても大事！



小さすぎず大きすぎない大分大学皮膚科は修行に最適！